

平成 29 年度決算

1、はじめに

平成 29 年度は、既存建物並びに医療機器等の経常的な修繕と更新に加えて、西新橋キャンパス再整備に必要な資金を賄える決算を目指して運営されましたが、各機関の経営効率化努力により、基本金組入前当年度収支差額（利益）は予算を上回る結果となりました。

2、資金収支計算書

施設・設備関係支出は 162 億円でした。主な内容は、建設仮勘定 108 億円、本院電子カルテを含む教具 28 億円、医療器械 12 億円、建物 12 億円でした。

施設・設備関係支出が大きかったことから、次年度繰越金は 486 億円となり、前年度末比較で 134 億円減少しました。

3、事業活動収支計算書

収入の部は、医療収入の増加により前年度比 27 億円増加の 1,040 億円となりました。

支出の部は、大学本館・大学 2 号館・旧図書館取壊しにより資産処分差額 13 億円を計上したこと、取壊しの際のアスベスト対策費用等で諸経費が 5 億円増加したこと、また、2 号館竣工と本院電子カルテ導入により消耗品費が 4 億円増加したこと等から、前年度比では 44 億円増加の 1,007 億円となりました。

この結果、基本金組入前当年度収支差額（利益）は 33 億円となり、前期比では減益となったものの、予算を達成することができました。

4、貸借対照表

純資産の部の増加 33 億円は当年度の利益です。この利益の内 21 億円は借入金の返済と長期未払金（リース、割賦の支払）に充当され、残りの 12 億円の内 10 億円は短期有価証券として内部留保されました。

固定資産は 135 億円増加しましたが、現金預金の減少 134 億円で賄われました。

尚、固定資産増加の内 50 億円は有価証券の増加であり、この分は現金預金が有価証券にシフトされたこととなります。

純資産の部の合計は 1,472 億円で、自己資金比率は 69.5%となりました。

5、決算開示方法について

平成 16 年度の私立学校法の改正に伴い、本学の事業報告書、法人誌「The JIKEI」、インターネットのホームページでの決算報告は、文部科学省への届出フォームで開示しております。

以上